★岩出山世帯数と人口　★令和4年1月1日現在。（ ）は前月比　世帯数:2,043（−2）　人　口:4,679（−25）　男　性:2,269（−15）　女　性:2,410（−10）

WA ROCK（ワロック）体験会！
～ 放課後児童クラブ「ハーモニー」 ～

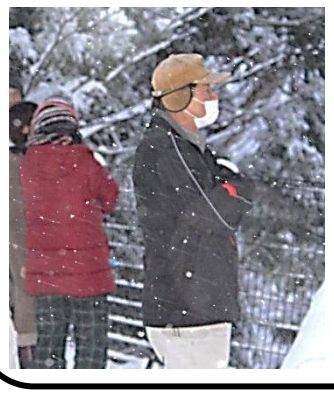
12月27日(月)に、岩出山放課後児童クラブ（岩出山小学校内）に出向き「冬休みワロック体験」を行ってきました。ワロックとは、西オーストラリア発祥の遊びで、石に絵や文字（作者の居住地等）を描きます。そして、この石は旅をします。というのも、このワロックは旅行者等によって持ち歩かれ、場所を変えるのです。自分の描いた石は今どこにあるのだろう？と想いを馳せるのも楽しいですね！ワロックファンになりそうです♪

今回は約30名の子ども達が参加し、1時間で113個のかわいいワロックが完成しました。大崎市内では有備館駅、あ・ら・伊達な道の駅、鳴子温泉駅、古川駅の4か所にワロックが置いてあります。

今後もワロック体験会を開催していきますので、興味のある方は、当委員会までお知らせください。

～ 初日の出を拝む会 ～

２０２２年の嬉しい幕明け。
「本年も　祈るみんなで　初日の出！」
諦めようと思ったその時、雲の切れ目から光が！
きれいな初日の出を拝むことが出来ました。



自由来館「集まっぺ（あづまっぺ）」
2/9（水）10:00～11:30

無料開放デー♪
岩出山地区公民館の集会室を開放しています。

取材してきました！ 有志の会
「残せるか！？」岩出山・城山SL勉強会

１月１６日（日）スコーレハウスにて、発起人である岡本さんの企画で、城山公園にあるSLについての勉強会が開催されました。

小さい頃から見上げるとSLが有る「岩出山の風景」。岡本さんは、「現物とともにその風景と歴史を子ども達そして孫へと、後世に語り継いでいきたい」と参加者の皆さんに想いを伝えられていました。

陸羽東線シゴハチ歴史保存会代表
大場正明氏の説明

『のこせるか！？岩出山・城山SL勉強会』にご参会頂いた地域の皆さま、大変ありがとうございました。また、現地で頂戴した貴重なカンパは今後の活動の礎（いしずえ）として、大切に使わせていただきます。流行り病（はやりやまい）の落ち着くのを見計らって、また地域の皆さまとご一緒に岩出山城山SL『一言（ひとこと）』思い出座談会（仮）などなど、車座になってお話できる場をご案内したいなあと考えております。夢はふくらむばかりです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

発起人　岡本一路（横町）
080-6293-0374

岩出山自主防災会連絡協議会より

2/6(日)

午前８時頃の約１分間
防災無線を使った「シェイクアウト訓練」

～　家庭での身を守る3つの基本行動　～
１ 姿勢を低くする　２ 頭を守る　３ 動かない

※所属行政区長さんを通して、２月号広報と一緒に配布される
ピンクの用紙をご覧ください。今回は地震を想定した訓練です。

メールもお待ちしております♪

メール

この岩出山地区全体に行きわたる「ほっとめーる」に、地域であった嬉しい事や伝えたい想い等、何でも良いのでお寄せください。今回はこちら↓

【嬉しい事がありました。家族で雪かきをしていると、どこからともなく小さなトラクター？除雪車が来てガタガタと雪をかいてくれました。お名前は？と聞くと「地元民だから」とカッコいいお言葉！なかなか地域の繋がりがみえないと思っていた私。感激してしまいました。 ありがとうございました。】

岩出山の本 岩出山いっぽ 配布について

「岩出山いっぽ」の配布は、岩出山親交会連絡協議会（小野一志会長）にお願いをしております。

３月の初めに、各34の親交会長様宅に、会員部数をお届けいたしますので、会員皆様にお届けしていただきたいと思います。

お手数おかけいたしますが、何卒ご協力のほど宜しくお願いいたします。

※親交会に所属していない世帯の方は、岩出山地区公民館にお越しください。

ぜひ LINE 登録を♪

岩出山CM継続放映中
KHB
★月曜夜 8：48 または9：54

「岩出山物語」聴いてね！

このまちの居場所に・・・　地域支援コーディネーター通信　③/全4回

モデル事業（平成29年10月）からの地域支援コーディネーターの役割は、地域の体制整備でした。地域力（一人ひとりの力）をいただき、今日まで進めることが出来ました。残り２ケ月です。

「したいことが出来る街。相談する人・場所がある街。」と書かせていただきました。

私が今地区公民館に関わらせていただけたのも、旧保健所跡地に地区館があったからです。当時の行政担当の佐藤孝さんと中村興子館長が、引っ越し15年前、引っ越しの私の居場所を作ってくださいました。

そこでは、地域づくり委員会の役員の方や利用者の方の印刷のお手伝いをさせてもらったりもしました。

「岩出山を語ろう」というワークショップに参加させていただいたことは、地域を知る一番のお仕事となったと事に就くきっかけとなり、現在のお仕事と出来事となりました。

そして、地域づくりや公民館館長就任を前に東日本大震災が発生しました。

平成23年3月11日、地区公民館館長就任を前に東日本大震災が発生しました。

「地域づくりや公民館って何？」なんて考える時間もなく、震災支援に追われ、台風等の自然災害、コロナ騒動は大きい出来事となりました。

日々の小さな生活のなかで、地域の皆さまとご一緒に支えあえたことが、正にしたいことが出来ます。

相談する人・場所があるこの街でしたいと思っています。

「地域と繋がろうと、子どもたちと一緒に小学生で、PTAの役員を引き受けることになったのも大きかったと思います。

２人が小学生で、PTAの役員を引き受けることになったのも大きかったと思います。

「地域と繋がろうと、子どもたちと一緒に小学生で、PTAの役員を引き受けることになったのも大きかったと思います。

正にしたいことが出来ます。

相談する人・場所があるこの街でしたいと思っています。

千葉暢子